



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL http://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 後根 桂二 (TEL) 03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,231	△3.1	△291	—	△294	—	△298	—
27年3月期第1四半期	3,334	△8.8	△324	—	△332	—	△385	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △297百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △285百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△36.17	—
27年3月期第1四半期	△47.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,110	5,506	60.4
27年3月期	9,574	5,793	60.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,506百万円 27年3月期 5,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	8.0	500	—	420	—	370	—	44.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	9,110,000株	27年3月期	9,110,000株
28年3月期1Q	846,999株	27年3月期	866,799株
28年3月期1Q	8,249,367株	27年3月期1Q	8,173,020株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、低迷していた個人消費が緩やかな回復基調を維持したことに加え、原油価格下落の影響や政府の経済政策の効果により輸出や設備投資が拡大するなど、堅調に推移いたしました。

情報サービス産業におきましては、本年7月に経済産業省が発表した平成27年5月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、5月の売上高は前年同月比0.7%増と一昨年8月から22ヵ月連続で前年同月比の増加が続いております。また、売上高全体の半分を占める「受注ソフトウェア」も、大手企業が収益の堅調を背景に情報化投資を進めており、前年同月比1.6%増と一昨年11月以降19ヵ月連続で増加しております。一方で、ITシステムの更新需要に対して、IT人材の慢性的な不足を背景としたシステム構築体制の確立が業界の大きな課題となっております。また、国内企業のみならず外資系企業の提供によるクラウドサービスの普及が進んでいることから競争環境が激化し、収益環境の厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、創業50年の節目である今期を初年度とする新たな3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」をスタートいたしました。システム開発事業において蓄積された業種・業務ノウハウを活かしたコア・コンピタンスの明確化をはかることによる「既存事業の収益の向上と安定化」、当社保有のサービスを再検討し、サービスメニューの拡大をはかることによる「ポートフォリオの多様化」、そして不採算案件の撲滅に向けたプロジェクト管理の強化、精緻化をはじめとした「全社横断機能の更なる強化」を基本方針としております。また、活力あふれる企業文化を醸成するために、社員参加型のIKI²!プロジェクト(イキイキプロジェクト)を、一昨年度から実施しております。

今期は「中期経営計画2015」の目標達成に向け当社グループ一丸となって事業を推進するとともに、IKI²!プロジェクト活動を継続的に展開することで、当社グループの経営課題の解決、ポートフォリオの多様化と安定的な収益の確保の実現に取り組んでおります。

以上のような状況において、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は4,397百万円(前年同期比383百万円増、9.6%増)、売上高は3,231百万円(同103百万円減、3.1%減)、営業損失は291百万円(前年同期は324百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は298百万円(前年同期は385百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は2,218百万円(前年同期比673百万円減、23.3%減)、売上高は2,002百万円(同249百万円減、11.1%減)、営業損失は197百万円(前年同期は213百万円の損失)となりました。

監視制御系の継続案件および流通サービス系の新規案件の獲得はありましたが、官庁系の継続案件の縮小ならびに運輸系のリプレース案件の終息により、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、プロジェクト管理の徹底により不採算案件を発生させなかった結果、前年同期から損失を縮小させることができました。

② S I 事業

受注高は381百万円(前年同期比32百万円減、7.9%減)、売上高は485百万円(同3百万円減、0.7%減)、営業利益は47百万円(同23百万円増、93.9%増)となりました。

新規案件獲得を積極的に推進いたしました。ERP系の継続案件の縮小により受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、好採算案件が増えてきたことなどにより、前年同期を上回る結果となりました。

③ プラットフォーム事業

受注高は1,462百万円(前年同期比1,172百万円増、404.3%増)、売上高は333百万円(同144百万円増、76.7%増)、営業損失は51百万円(前年同期は67百万円の損失)となりました。

インフラ構築系の大型案件を受注したことにより、受注・売上高ともに前年同期を大幅に上回る結果となりました。損益面につきましては、売上高の増加にともない、前年同期から損失を縮小させることができました。

④ その他

受注高は334百万円(前年同期比82百万円減、19.8%減)、売上高は409百万円(同5百万円増、1.3%増)、営業損失は53百万円(前年同期は41百万円の損失)となりました。

Webメディア系の継続案件の縮小および運用・保守系の継続案件の縮小により、受注高は、前年同期を下回る結果となりました。売上高につきましては、機器販売およびライセンス販売等が堅調に推移したため、前年同期を上回る結果となりましたが、損益面につきましては、営業損失を計上する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,157百万円(前連結会計年度末比376百万円減、6.8%減)となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,953百万円(前連結会計年度末比86百万円減、2.1%減)となりました。主な減少要因は、投資有価証券の減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,692百万円(前連結会計年度末比185百万円の減、6.5%減)となりました。主な減少要因は、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、911百万円(前連結会計年度末比9百万円増、1.1%増)となりました。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,506百万円(前連結会計年度末比287百万円減、5.0%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「連結財務諸表に関する会計基準」等の適用)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	981,988	890,033
受取手形及び売掛金	3,998,230	3,272,762
有価証券	100,910	100,580
商品及び製品	144,751	130,376
仕掛品	130,431	566,858
その他	181,241	199,727
貸倒引当金	△3,660	△3,164
流動資産合計	5,533,894	5,157,174
固定資産		
有形固定資産	127,314	124,240
無形固定資産		
のれん	512,312	502,559
その他	581,957	552,243
無形固定資産合計	1,094,270	1,054,802
投資その他の資産		
投資有価証券	2,689,670	2,642,796
その他	131,936	134,597
貸倒引当金	△2,886	△2,886
投資その他の資産合計	2,818,722	2,774,508
固定資産合計	4,040,307	3,953,551
資産合計	9,574,201	9,110,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,382	687,262
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	310,000	310,000
未払法人税等	29,556	6,053
賞与引当金	533,065	274,555
受注損失引当金	1,467	682
その他	743,169	914,186
流動負債合計	2,878,642	2,692,740
固定負債		
長期借入金	772,801	772,801
資産除去債務	97,189	97,691
その他	31,864	41,161
固定負債合計	901,855	911,653
負債合計	3,780,498	3,604,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,647,086	3,348,672
自己株式	△293,049	△282,826
株主資本合計	5,598,511	5,310,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,434	50,956
退職給付に係る調整累計額	153,756	145,053
その他の包括利益累計額合計	195,191	196,010
純資産合計	5,793,702	5,506,332
負債純資産合計	9,574,201	9,110,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,334,604	3,231,103
売上原価	3,023,467	2,883,631
売上総利益	311,137	347,472
販売費及び一般管理費	635,557	638,831
営業損失(△)	△324,419	△291,359
営業外収益		
受取利息	1,072	1,075
受取配当金	1,263	1,258
助成金収入	8,502	4,661
その他	7,855	2,407
営業外収益合計	18,693	9,402
営業外費用		
支払利息	6,776	5,530
支払手数料	5,131	4,003
持分法による投資損失	14,425	2,951
その他	643	169
営業外費用合計	26,976	12,655
経常損失(△)	△332,702	△294,612
税金等調整前四半期純損失(△)	△332,702	△294,612
法人税等	53,083	3,800
四半期純損失(△)	△385,786	△298,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△385,786	△298,413

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△385,786	△298,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,482	9,176
持分法適用会社に対する持分相当額	101,745	△8,357
その他の包括利益合計	100,263	819
四半期包括利益	△285,522	△297,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△285,522	△297,594
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	システム開 発事業	S I 事業	プラット フォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,252,590	488,744	188,525	2,929,859	404,745	3,334,604	—	3,334,604
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	152,789	1,569	28	154,387	75,574	229,962	△229,962	—
計	2,405,380	490,313	188,553	3,084,246	480,320	3,564,566	△229,962	3,334,604
セグメント利益 又は損失(△)	△213,942	24,693	△67,505	△256,754	△41,655	△298,409	△26,009	△324,419

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に運用・保守、機器販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△26,009千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	システム開 発事業	S I 事業	プラット フォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,002,717	485,403	333,159	2,821,279	409,824	3,231,103	—	3,231,103
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	95,310	4,772	37	100,119	88,366	188,486	△188,486	—
計	2,098,027	490,175	333,196	2,921,399	498,190	3,419,590	△188,486	3,231,103
セグメント利益 又は損失(△)	△197,490	47,890	△51,866	△201,467	△53,208	△254,675	△36,683	△291,359

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に運用・保守、機器販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,683千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発事業	2,218,186	△23.3	2,648,619	△21.7
S I 事業	381,731	△7.9	377,745	△14.6
プラットフォーム事業	1,462,750	404.3	1,371,692	315.7
その他	334,794	△19.8	340,843	△31.0
合 計	4,397,462	9.6	4,738,901	1.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。